

府中山の会だより

(敬称略)

2023(令和5)年10月

編集 広報 山浦



◇第17回月例山行 宝篋山 電車日帰りをバス日帰り山行に変更します。

宝篋山山行 2023年11月18日(土) 茨城県つくば市 移動時間が長いのでバス山行に変更します。

◇新たに2名方が入会されました。

北岡 直子(きたおか なおこ) 女性 1951年生 稲城市大丸

山本 元美(やまもと もとみ) 女性 1956年生 府中市白糸台

◇山行記 第11回 霧ヶ峰(車山 1925m) 男性7名 女性14名 計21名

実施日 2023年8月26日(土) 初級向き 担当 石毛弥生 中村久子

三谷 正子 記 キャンセル待ちでの霧ヶ峰ハイク。八島湿原へはほぼ予定通り到着。小さな広場で体操、衣服調整を済ませ2班に分かれ出発です。木道はひんやりとして湿原を実感。歩き始めるとフウロウ、ナデシコ、ヤナギラン、そしてマツムシ草等の花々。暫く進むと山小屋の灯の歌碑。歌詞をなぞり口ずさむと懐かしい気持ちに。木道の終わりにはドーンと物見岩が。謂れについて知る事は出来ませんでしたが、見上げつつ水分補給、少し先の蝶々深山で昼食後車山分岐までの草叢の中にもウメバチソウ、シャジンと花の道は続き極めつきは淡い黄色のハナイカリ。霧ヶ峰は山野草祭りで、なぜか突然のお天気雨も思い出に。参加させて頂きました。



蝶々深山にて

車山 山頂

◇山行記 第12回月例山行 大菩薩嶺(2057m) 男性8名 女性10名 計18名

実施日 2023年9月3日(日) 一般向け 担当 牧原史泰 山浦研司

高木 伸安 紀 甲斐大和駅からジャンボタクシー2台で上日川峠へ。テント場でいつもの準備体操、まわりはブナ林で空気がすがすがしい。2班に分れて出発する。笹の茂る森のなか、福ちゃん荘から唐松尾根へ進む。雷岩まで急登が続き、息があがる。下山者もいて、すれ違いで一息つく。雷岩で小休憩のあと、程なく 2057m 大菩薩嶺の山頂に到着する。人気の山で登山者も多い。以前、妻と三人の子供とで来たことを思い出す。皆で記念写真を撮り、大菩薩嶺へと富士山と大菩薩湖を横目にしながら歩く。峠の手前の景色のよい日陰のある所で昼食です。大菩薩峠から熊沢山頂の横を通り、前年も来た石丸峠分岐で小休止。キクバクワガタが一輪咲いており、また、笹のなかにマルバダケブキを見かけました。分岐から笹のトラバース道を下り、小屋平バス停を横切り、笹と唐松の美林のなかを沢を三本渡り、15時少し前に上日川峠駐車場に到着。待っていたジャンボタクシーで甲斐大和駅に到着しました。今回の山行も大満足でした。リーダー、役員の方々、いつもありがとうございます。次も行くぞー！

写真は次ページ



2班です

大菩薩嶺頂上

◇山行記 第13回月例山行 飯盛山(1643m) 男性7名 女性12名 計19名

実施日 2023年9月19日(火) 初級向け 担当 永沼典子 岸波勇雄

北岡 直子 記 お天気が崩れるかと心配しましたが、雨にも降られず、暑くなりすぎず総勢19名で元気には歩いてきました。3連休明けの平日で道路状況も順調でした。東京の猛暑を逃れ、山道に入ったとたんに涼しく感じ、登りも時折吹く谷風に助けられ、尾根まで上がりました。視界が開けると、登ってきた野辺山のパラボナアンテナが見下ろせ、反対側は上の方は雲に隠されていましたが八ヶ岳連山が望まれ見晴らしの良い尾根歩きでした。名前の付け方がユニークな大盛山に寄って飯盛山をめざしました。薄紫色のマツムシソウが沢山咲いていました。他にも林の中には、黄色い秋のキリンソウ、ノコンギク、シラヤマギクなどの野菊、ピンクのアザミ、ヤマラッキョウ、青いトリカブト、リンドウはまだつぼみでしたが、今にも咲きそうでした。早めに飯盛山頂上に着き、目の前の八ヶ岳の山々が裾野まで広がる絶景を眺めながらお弁当は、忘れられない思い出なりました。白い入道雲、青空にグレーかかった黒雲が流れて来るなか雨も心配しましたが、降られずにすみました。帰りの山道では珍しい蝶に出会い、誰彼なしにもモスラと呼んで盛り上りました。この蝶々を調べてみると「クジャクチョウ」とのこと、オレンジ色に目玉模様で鳥を遠ざけ、羽を閉じると黒になって枯れ葉や樹皮に擬態するというとても賢い蝶々でした。蝶々も鳥に食べられない様に色々と策をめぐらし、進化しているのが頼もしく思えました。清里高原、飯盛山、まだまだ暑かったです、秋を感じられる楽しい山行でした。

平沢山から大盛山・飯盛山へ



飯盛山 山頂

野辺山天文台 45m電波望遠鏡